



これからのまちづくりのために 移動町長室

移動町長室は、町民皆さんから直接ご意見・ご要望をお聞きし、そこで出された貴重な声をこれからの行政に反映するため毎年実施しています。今月号では、昨年11月に各地区連合町内会を単位として定期開催された、移動町長室に出された主なご意見と回答をお知らせいたします。

地区名	開催日
下山	11月20日
北落合	11月21日
落合	11月21日
金山	11月22日
幾寅	11月24日

畜産農家は飲料用として使っている水を牛にも使っているの、牛乳を搾るのにどうしても高上がりになってしまふ。畜産業の水道料金体系を考えてほしい。今は人間が飲む水と牛が飲む水が同じ料金体系になっていて、人間が飲む水は全町一律でいきますが、畜産振興でやる人たちの水道料金については減免するなど柔軟な対応を検討して、19年度中に全体的な水道料の見直しを行い、方向を確立します。北落合地区については暫定的に19年4月から何らかの形で畜産振興として行い、20年度から全町のスタートしていきたいと考えています。

落合には仕事をする場が少ないのが大きな悩みとなっています。南富良野町は町有林を多く有し、その他私有林、国有林と周りは美しい山々です。その山々の木々を育てる基地施設を落合に設置できないか検討をお願いしたい。

自然豊かな森林資源を持

（は意見・要望など。は回答）

ごみ収集の時間を守ってほしい。

8時半前にゴミ収集車が来て、持っていたという話がありましたので、委託している業者に再度、8時半以降に収集するように強く指導しました。

下十梨別支線の簡易舗装が砂利道と変わらない状況になっている。改良するのが見通しを聞きたい。

下十梨別支線は、現状簡易舗装をしていますが、今簡易舗装が剥がれている状況にあり、きついカーブや斜面が少し崩れてきているところもあり、擁壁がやや垂直きみになっています。町道という事で道路整備計画を5年毎の見直しをかけた計画はしていますが、補助事業もつきづらいい路線でもあり、利用できる補助事業がないか探しているところであり、補助がつけば年次の道路の改良を行っていきたくて考えています。

つ町として、森林産業は雇用の場とともに基幹産業としても重要な地場産業であるということ、町としては「山づくり」を個性豊かな町づくりに活かすことを前提に、町有林や民有林の育成に努めていますし、今年も落合の狩勝には森林管理道を整備させていただきました。そういった整備をする中で、次の段階として森林資源を活用する木質バイオマスエネルギーの農業利用など、新たな森林資源の活用を現在検討しているところです。森林資源の活用や山づくりといった視点



幾寅栄町にある踏切の坂道は冬になると転ぶ人が出て骨折すると大変です。土木現業所に道路は直していただいたが、踏切の片側に歩道がないので、早急に改善するよう要望してほしい。

道々石勝高原幾寅線の踏切は以前から町としても土木現業所などに要望をしていますが、なかなか難しい状況です。しかし、地域の人口も増えていく中で、町としても今まで以上に要望していかなければならないと思っております。この踏切については両歩道で往き帰りができるように、町としても地域の方々と話しをさせていたいただきながら、一緒に土木現業所に要望していきたいと思っております。

特別養護老人ホームの建設に10億円かかるとこの先どうなるのか不安がある。

特別養護老人ホームの建設事業費が大体10億円位ということと想定をしていますが、できるだけその10億円に収まるように現在設計をしている段階です。資金計画では、10億円のうち95%は過疎債で、国でお金を融資してくれます。融資という借金と同じような形になります。そのうち70%が地方交付税として国から入ってくることにあります。そうすると95%の内70%、約70%弱が国から入ってきます。10億円お金を掛けてもそのうちの7億円は国から地方交付税として入り、そのほか北海道からも補助金を投入してくれる形になっていきますので、実質町の負担は、1億円から2億円位になり、町の財政規

から、「木々を育てる基地施設」の必要性や可能性について林業事業者や森林組合などの意見もいただきながら検討させていただきます。

大雨で水道水が濁ることが多くなっているが、特別養護老人ホームが開設される中で良質な水を確保するため国有林の整備を考えたほうがいいか。

金山地区の取水施設は国有林内に設置しており、昭和39年度から使用していましたが、著しく機能が低下していることから、平成20年度に更新する考えでいます。現在供給している水は、平成12年に建設した浄水場で過され、管理された水道水であり、取水施設は老朽化していますけれども安心してご利用いただけます。また、特別養護老人ホームが建ち、人口が増えて水量が必要になってくることは、計画の範囲内であり、水量については問題ありません。国有林内の河川に設置していますが、この水域の国有林は水源涵養保安林ではなく、経済林であることから計画的に間伐などの森林施業が行なわれており、町としても承知しているところであり、これに

横からいうと大きな負担にはならないことで、事業を推進していきます。

金山は少子高齢化で小学校の児童が年々少なくなるということ、PTAで山村留学を検討しています。仮に山村留学を実施するようになった場合の行政の支援について、見解を伺いたい。

現在、内容や方法などについては、検討中とのことであり、その内容が決定次第地域および学校と協議し、支援できる部分があるのか検討させていただきます。いただきたいと思っております。山村留学には里親制度や移住制度があります。里親制度は、地区住民の方が里親となつてホームステイをして通学するという制度で、まず里親を確保しなければなりません。また、移住制度は保護者と共に移住していただく制度のため、住宅の確保が必要となるなど、山村留学の方法も様々でありますので、町や教育委員会としての支援の方法もあらゆることが考えられます。

し町としては、水質保全のため、取水施設周辺の森林施業にあつては森林管理署に対し最大の配慮を図られるよう要請し、対応していただいているところであり、状況としては雨が多く降ると取水施設に土砂などが堆積し、維持管理が大変な状況となっています。このことから、平成20年度には取水施設を更新する予定ですが、地区の水源林をどのように維持していくかについては、今後森林管理署とも協議していかねばならないところであり、「緑のダム」についても選択肢の一つとして検討させていただきます。



幾寅のやわらぎ公園パークゴルフ場のティーグラウンドを規格に合ったものに整備してほしい。

ティーグラウンドを設置して年数もかなり経っています。ホール看板につきましても傷んできており、職員が手作りで雨に濡れても取れないように補修してきましたが限界がありますので、来年度の予算の中で、整備が必要なものについては整備をしていきます。

町では、町民5人以上のグループを単位とする随時開催の移動町長室も開催しています。ご希望の方は企画課広報統計係 ☎52 2 1 1 5)までお問い合わせください。